



コロナ時代における企業文化とワークスタイル

あなたの会社の企業文化は、それが良い文化でも悪い文化でも、危機に際して拡大される傾向にあります。その会社が全体的に健全な企業文化を持っていれば、多くの点で、この困難な時代をうまく乗り切りやすくなります。

もともと問題のある企業文化や劣悪な労働環境があった場合、それらは今さらに拡大され、従業員が在宅勤務している間、この困難な時代をうまく乗り切るのが難しくなります。

日本の場合、日本独特の文化と伝統といった追加要因があるのも事実ですが、私が自然な進歩だろうと感じることを犠牲にして、非効率的な旧来のマインドセット（考え方）がまだまだ日本に残っているという印象があります。今回の危機の前から存在していた日本企業の在宅勤務の遅れに関する課題は、マインドセットや企業文化に大きな変化がない限り、この危機が過ぎた後も存続し続けるでしょう。

今週の記事では、日本企業とそこで働く社員の苦労のもとになっている原因について考えてみましょう。

技術的脆弱性

今回のパンデミックのような大事件があると、業務継続性のためのテクノロジーの活用が重要になります。企業がテクノロジーの進歩に歩調を合わせて業務を変革できていない場合、問題がさらに大きくなりますし、最悪の場合は倒産に至る可能性すらあります。以前の記事で述べたとおり、電子署名機能（デジタル印鑑）、ノートPC、セキュアな通信といった基本アイテムの欠如は、日本企業にとって足かせになっています。

今の時代、たとえ中小規模の会社であっても、デジタル署名への切り替えやノートPCの整備といった基本的な対応策は、やる気さえあればすぐに可能でしょう。もしも日本が、このままデジタル化の波に乗り遅れていくと、大企業、中小規模の企業、個人事業主にかかわらず事業存続危機の可能性がいつそう高まってしまうと思います。

恐怖と不安感の文化

業績が良い時から経営陣にリーダーシップが乏しかった場合、危機の時代には問題点がさらに拡大されます。部下をマイクロマネジメントしたり、創造性や独立した思考を抑制する企業文化が定着している場合、危機の時代にそれらはいつそう拡大されます。

先日とり上げた記事の1つでも、管理職の部下に対する不信感が原因で、部下が在宅勤務中にまじめに仕事をしていないに違いない……と考えているエピソードがありました。しかし、これは今回のコロナ危機とは別の問題であり、管理者とその部下のタイプに関係があります。部下が、自宅で実際にだらけ切った状態で仕事をしているなら話は別ですが、5分間程度の休憩を定期的にとることは全体的な生産性の向上に役立ちます。ニューヨーク在住のある読者は、「管理職によるマイクロマネジメントがその部下に多くのストレスと不安を引き起こしている」と指摘していました。自分がしっかり仕事をしていることを会社に見せるために、社員たちが「勤務時間中は1分たりとも

パソコンから離れないようにしなければ……」と感じているようでは、精神衛生上良くないばかりでなく、生産性にも悪影響を及ぼします。「karoshi（過労死）」という言葉を生み出したこの国で、経営者はこのリーダーシップのスタイルについて再考すべき時ではないでしょうか。

社員に在宅勤務を許せば一日中ダラダラ過ごしたり飲酒するに違いない、などと根拠のない心配をしてテレワーク導入に反対するのは、たとえそれがどんな環境であれ合理的ではありません。「どこかで何かが起こり得る可能性」は常にありますから、それだけでは十分な理由にはならないでしょう。

もう一つ心配なのは、企業が在宅勤務期間を、各社員の会社への貢献度を再評価する機会として使うことで、最悪の場合には解雇につながる可能性があるということです。これは、特にアメリカでは頻繁にあることですが、私にはさっぱり意味がわかりません。前にも述べたように、変わったのは仕事をする物理的な場所だけであって、仕事の必要性、仕事をしている人の能力、仕事を成し遂げるために必要なその人のスキル……それらのどれも変わっていないのです。リストラの正当な理由にはできないはずです。

今回の記事では、在宅勤務をしながら仕事文化を向上させる技術、コミュニケーションの重要性とその活用方法について話す予定です。

日本で暮らした10年の経験と、世界中に散らばったリモートチームとの共同作業で約20年もの経験を持つイヴォンヌ・バートンさんは、国際的に活動する日本企業や日本市場で事業を展開している欧米企業にテクノロジーコンサルティング、ビジネスコミュニケーションセミナー、異文化トレーニングなどのサービスを提供する [バートン・コ](#)

ンサルティング・インターナショナル社の社長です。イボンヌさんの経歴や同社のサービスの詳細には、burtonconsulting.biz を参照してください。

日本人のみなさんや、日系企業で働いている外国人の方々など、在宅勤務は今回が初めてという方も多いと思います。慣れないテレワークで生活のリズムづくりに苦労しているお友達がいたら、この記事シェアしてあげてください。また、実際に在宅勤務を始めてみて直面している問題などがありましたら、ぜひ教えてください。その他、質問や、イボンヌさんに取り上げて欲しいトピックなどありましたら、[susan @ japanculture-nyc.com](mailto:susan@japanculture-nyc.com) までメールをください。イボンヌさんは週に3回のペースでこのサイトに投稿する予定ですので、彼女から学ぶ機会はたくさんあります！

コロナウイルスに関する情報へのリンク：

<https://www.who.int/>

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-nCoV/index.html>

<https://coronavirus.health.ny.gov/home>

<https://www1.nyc.gov/>

JapanCultureNYC は、ニューヨークの日本に関することならなんでもあついている英語のウェブサイトです。 JapanCulture-NYC.com で、次のお気に入り日本アイテムを見つけてください。